

論文執筆ガイドライン

1. 論文の作成について

- ① 論文作成前や投稿前には、投稿規程および投稿要領を熟読し、遵守してください。
- ② 論文採択までの過程は、査読者である会員の協力によって成立するものです。著者は、査読者に無用な負担がかからないよう、最善の努力を払ってください。特に、誤字脱字や英語スペル、参考文献の書き方、図表の説明等のチェックなど、自助努力で可能なことは論文提出前にすべて行ってください。
- ③ 要旨の文字数制限は厳守してください。また、和文論文においても英文の **summary** が必要となりますのでご注意ください。
- ④ オンライン投稿のページに記載されている「投稿時の注意点」を必ず確認してください。特に、投稿する論文のファイル名は指定に従い変更してください。

2. 研究倫理について

本会会員が診療放射線学および診療放射線技術の向上と発達、ならびに公衆衛生の向上を図るために実施するすべての学術研究においては、倫理的責任感をもって活動を行わなければなりません。文部科学省ならびに厚生労働省の定める「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠し、人を対象とする医学系研究等を計画・実行する場合に、事前に会員の所属する施設の倫理審査委員会またはそれと同等の役割を持つ責任者あるいは施設長から、倫理に関する承認を受けなければなりません。

3. 利益相反について

著者は、当該論文に対して、臨床研究に関連する企業や営利を目的とした団体との経済的な関係について、利益相反（Conflict of interest : COI）の有無を示す必要があります。特に該当する場合はその内容を論文に明示し、自己申告を行わなければなりません。

COI 自己申告事項について、疑義もしくは社会的・道義的問題が発生した場合、本会として社会的説明責任を果たすために、十分な調査とヒアリングなどを行ったうえで適切な措置をとるよう、著者に勧告することがあります。深刻な COI 状態にあり、著者が説明責任を果たせない場合には、当該論文を不採択とします。

4.1 査読過程の流れ

- ① 投稿された論文は、編集委員会が受付し、査読開始の可否を判断します。査読開始となった場合は、公正かつ適切な査読が可能な査読者 2 名を編集委員会が指名し、査読を依頼します。

- ② 編集委員会は、査読者による「査読コメント」を総合的に検討し、著者に通知します。
- ③ 著者は再投稿を求められた場合、「査読コメント」を参考に論文を修正・改稿し、指定期日までに再投稿します。この際、「査読者への回答」(任意形式)を添付してください。
- ④ 査読は原則初回査読・再査読の2回を限度とし、再査読の「査読結果」が最終判定となります。

4.2 査読コメントに対する回答

- ① 再投稿の際、「査読者への回答」の添付は必須です。査読者から指摘された一つ一つのコメントに対して個別に回答を行い、修正・改稿の意図をわかりやすく記載してください。
- ② 著者への「査読コメント」は、専門的知見を持った読者からの反応として、謙虚かつ真摯にお受け止めください。たとえコメントが明らかな誤解を含んでいると考えられる場合でも、自分の論文に誤解を招きやすい点、説明不十分な点がなかったかを今一度考えてみてください。

以上

2020年12月11日